

海洋教育パイオニアスクールプログラム成果報告書

【成果報告書1 : 海洋教育のデザイン】

1 学校名 島根県益田市立安田小学校

2 活動テーマ名 みつめなおそう 安田の海 つたえつづけよう 海の宝

3 実践の概要・ねらい

学校がある地域は山、海がある自然に恵まれた地域である。しかし、子どもたちの生活の中では、その恵みを喜んだり、その美しさやふるさとのよさを感じる時間は極めて少ないのが実情である。そこで、ふるさとの自然に目を向け、自分たちの住んでいる地域のよさをあえて実感させていく必要があると考え、2年間継続して取り組んできた。その中では、海の生き物を学んだり、海に関する地域の実情を考えさせたりするとともに、海を大切にしている方々に出会わせ海への思いや行動、生き方についても考えさせられるような学びにしていきたい。

4 実践計画

①テーマ・概要・活動計画，教科との関連

I 海に親しもう 5月～6月中旬

～海の生き物にふれよう～

- ・砂浜や岸辺で遊びながら、海の生き物に気づかせる。
- ・津田漁協の方々に協力していただき安田の海に生息する生き物を学ぶ。
- ・海の幸を調理していただいたものを食べてみる。
- ・海に親しんだ感想を交流し合う。

II 海を感じよう 6月中旬～7月

～船に乗ってみよう～

- ・海に親しみ、漁協の方々や漁師さんたちと親しくなり船に乗せていただく。
- ・生き物だけでなく海の水面や砂浜にある漂着物やゴミにも関心を向けさせる。
- ・海から自分たちの町を眺めたことから、さらに、海に対する関心を深める。
- ・海を感じた感想を交流し合う。

III 海について考える 9月～10月上旬

～漂着物調査から～

- ・海岸にある漂着物を実際に分別することを通して、海に関する現実問題にも関心を持たせる。

- ・海を美しく保とうとされている方々の話を聞いたり、海の美化活動に参加したりして海に関わる方々の思いを感じさせる。
- ・自分たちにできる海のための行動を考える。

IV 海のことを つたえよう 10月中旬～11月

～ニュース番組にして他の学年の友達、家族、地域の方々に伝えよう。～

- ・これまで学んできたことをまとめる。
- ・伝える方法を考える。
- ・実際に表現し、伝える。
- ・観覧した方々からの感想をまとめこれからの行動を確認する。

②実践の評価について

- ・海の生き物探しや漁船乗船体験などの体験活動に、興味・関心をもって取り組んでいる。
- ・体験したことから課題を見つけ、必要な情報を収集し、計画的に調べている。
- ・調べたことや考えたことを、相手意識をもち、分かりやすく調べている。
- ・体験活動や、海に関わる方々の思いを聞く活動を通して、地元の海のよさについて自分なりに考える。

5 今年度の実践

①計画からの追加・変更点

IV 海のことを つたえよう 10月中旬～11月

<変更>

IV 海のことを つたえよう 2月～3月

- ・これまでの学習から安田の海のよさについて考えを出し合う。
- ・1年間関わってくださった講師の方から海への思いを聞く。
- ・1年間の学習をもとに、安田の海のよさを伝えるリーフレットを作成する。

②実践の成果

- ・漁船乗船体験、海辺の生き物探し等、海での活動により、五感を通じた体験ができ、より地元の海を身近なものと感じることができた。
- ・1年間を通して講師の方に関わってもらうことで、地域の方や関係団体の方の海への思いや海を守っていくための活動を知り、自分たちも地元の海を大切にしているという思いが強まった。

③次年度への課題

- ・海での活動が中心となるため、天候に左右されやすい。講師や漁船の手配など、連絡を頻繁にとる必要がある。年度当初の十分な打ち合わせ、スケジュール調整が欠かせない。

- ・児童の体調面での配慮、安全面での事前指導を十分に行う必要がある。

6 主な関連機関及び内容

特定非営利活動法人アンダンテ 21：海辺の生き物探し、漁船乗船体験

ハマグリ・サクラ貝調査、漂着物調査

島根県環境生活部廃棄物対策課：漂着物調査

4年生「みつめなおそう 安田の海 つたえつづけよう 海の宝」

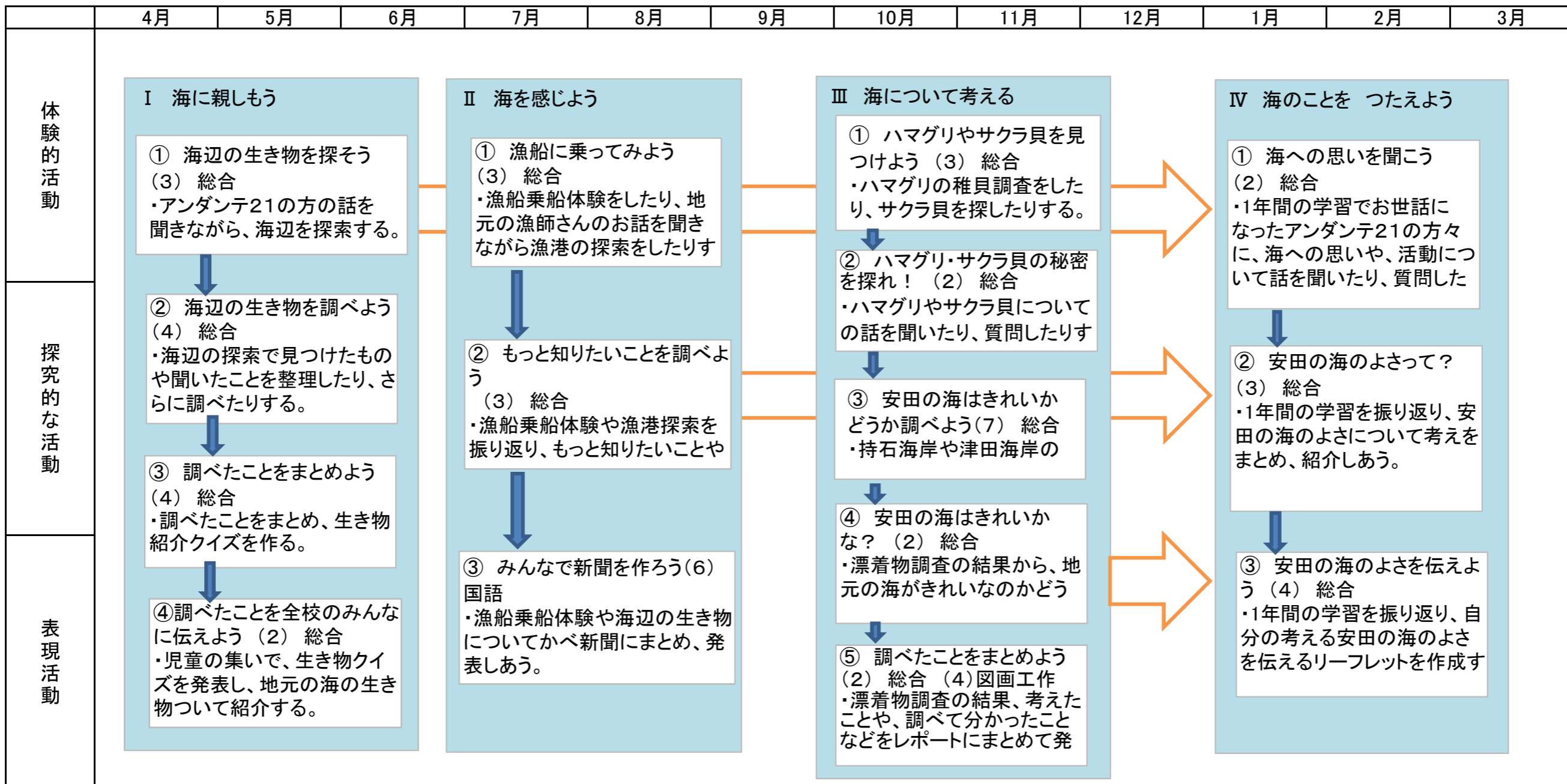
【実践のねらい】

学校がある地域は山、海がある自然に恵まれた地域である。しかし、子どもたちの生活の中では、その恵みを喜んだり、その美しさやふるさとのよさを感じる時間は極めて少ないのが実情である。そこで、ふるさとの自然に目を向け、自分たちの住んでいる地域のよさをあえて実感させていく必要があると考え、2年間継続して取り組んできた。その中では、海の生き物を学んだり、海に関する地域の実情を考えさせたりするとともに、海を大切にしている方々に出会わせ海への思いや行動、生き方についても考えさせられるような学びにしていきたい。

○ 時数 5月～3月 53時間(総合的な学習の時間 44 国語6 図画工作3)

○ 関連 国語 図画工作

- 目標 (1)海辺の生き物探しや、漁船乗船体験を通して、海を身近なものとしてとらえることができる。
 (2)ハマグリやサクラ貝生息調査や海岸の漂着物調査などの活動を通して、地元の海の現状を知り、自分たちにできることを考えることができる。
 (3)「安田の海のよさを伝えよう」をテーマに、地元の海の魅力を考え、発信することができる。



【主な関連機関と内容】

- ・ 特定非営利活動法人アンダンテ21:海辺の生き物探し、漁船乗船体験、ハマグリ・サクラ貝調査、漂着物調査
- ・ 島根県環境生活部廃棄物対策課 : 漂着物調査